

## 令和6年度 第1回岡山県グリーン購入対策会議 【議事概要】

日時：令和6年8月21日（水）

10:00～11:30

場所：岡山県庁 環境文化部会議室

### 1 開 会

司会：循環型社会推進課

### 2 開会あいさつ

環境文化部次長

### 3 会長及び副会長の選任

委員の互選により、岡本委員を会長に、松井委員及び生内委員を副会長に選任。

### 4 議 題

#### (1) 岡山県エコ製品の認定審査について

説明：循環型社会推進課

※資料（岡山県エコ製品の認定審査について）説明

#### 【質疑】

- <委員> 未利用繊維、故繊維などの難しい単語は、今後は説明の中で補足して欲しい。  
吸着階段用びたマットに係る申請書の添付資料に、製品全体における未利用繊維、リサイクル繊維が35%以上という記載があるが、事務局の説明では基準は25%以上ではなかったか。
- <事務局> 申請書にエコマーク申請に係る書類が一部添付されており、当該記載はエコマークの認定基準を満たしていることを示している。
- <委員> システムエコタイルについて、再生ポリエチレンが製品全体重量比で50%使用されているという説明であったが、これはポストコンシューマ材料であることが確認されたものという理解でよいか。
- <事務局> お見込みのとおり。ポストコンシューマ材料のみを使用することを、申請書から確認済である。
- <委員> 循環資源を使用することでのコスト面に与える影響と、岡山県エコ製品認定されることで製品PRにどの程度効果があるかなどの、事業者からの情報を把握されているのであれば、お伺いしたい。
- <事務局> 吸着階段用びたマット等の製造過程で発生する端材は、原料として自社で再利用されており、コスト面で有利と思われる。また、ワタナベ工業では、既に岡山県エコ製品認定されている製品があり、一定の製品PR効果を期待いただいているものと認識している。
- ・申請のあった製品について、認定することが適切と判断された。

【次頁に続く】

## (2) その他

岡山県エコ製品認定状況、グリーン購入実績等について  
報告：循環型社会推進課

### 【質疑】

<委員> 岡山県エコ製品認定件数が減少する事由や傾向を教えてください。

<事務局> 廃止届出により廃止の事由を把握しているが、製品の製造中止により廃止されるケースが多いと感じている。

<委員> 廃止や非更新となる、企業や業種、品目等に特徴はあるか。

<事務局> 特徴は把握できていない。

<委員> エコガイドにおける土木資材の記載について、同一事業者が複数製品の認定を受けている場合に、製品の違いが分からないので、一つにまとめたり、規格が違うのであれば分かるようにしてはどうか。

<委員> 岡山県エコ製品認定制度を中長期的にどうしていこうとしているか。また、認定業者から、制度についてどのような意見があがっているか。

<事務局> 環境に関する意識が県民、企業ともに変化してきており、環境に関する取組が企業にとって当たり前となってきている中での、本制度のあり方については、今後の動きを注視し、委員の皆様の御意見も踏まえながら考えて参りたい。

また、県で調達実績が多い土木資材の認定業者は、メリットを感じていただいているので、認定件数が多いものと考えている。

<委員> 製造時に環境に与える影響や従業員の雇用条件等にも配慮された製品が、社会のニーズとして求められており、事業者はそのような製品ブランドを確立して商品価値を高める動きが見られる。岡山県エコ製品認定制度とは別に、産業労働部と協力して支援のあり方を検討するなど、まずは各業界における製品ブランドを研究されてはどうか。

<委員> 岡山県エコ製品は、認定マークを使用する場合に手数料等が必要となるか。

<事務局> 認定審査料等も含め、手数料は不要としている。

<委員> 再生利用が企業の意識として浸透してきているが、県として再生利用を推進していくということは、消費者や事業者のため、ひいては県民全体のためになるので、基本的なスタンスとして必要であり、どういったことを実施するのかという視点でこの委員会はあるべきと思っている。

<委員> 岡山県エコ製品のPRだけではなく、再生利用や廃棄物の抑制の必要性を実感してもらう必要がある。消費者の立場に立って、どうしたら岡山県エコ製品を購入するつもりになるかという意見を集め、反映していただきたい。

<委員> 県のグリーン購入実績について、公共工事の対象範囲と、自動車について教えてください。

【次頁に続く】

<事務局> 公共工事に関しては、特に工事の条件等を限定せず、すべての公共工事を対象としている。また、自動車は電気自動車等を調達したものである。

<委員> 企業では例えば芸能人を使うなどして働きかけている、製品イメージに係る部分が弱いのではないかという認識があるので、啓発の要素として検討していただければと考える。また、エシカル商品の購入に関する調査で、環境ラベルを意識して買っているという回答があったので、それも考慮のポイントとして検討いただければと思う。

#### 4 閉 会